

研究課題番号	4RF-1902
研究課題名	森・里・川・海連関の評価手法構築に向けた小型通し回遊魚の生態解明
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	長野大学
研究代表者名	満尾 世志人

1. 委員の指摘及び提言概要

ハゼ科魚類を対象に精力的に調査を行い、河川構造の影響など、貴重な知見が得られ、小型通し回遊魚の生態については期待どおりの成果が得られたと評価する。環境省のみならず、国土交通省の河川管理等にも役立つ知見を提供すると期待される。また、耳石のSr同位体比が汽水利用期間の推定に有効であるという指摘は今後につながる重要な進展と思う。一方、計画に示されている「森・里・川・海連関に関する類型化と評価手法の開発」については、道半ばという印象である。生態系、物質循環の視点が弱く、ハゼ科魚類の回遊の生態系保全上の重要性が分かりにくかった。今後、森・里・川・海の連関（生態系の中の位置づけ）についての考察をさらに深め、連関を評価する手法について取り組んでいただくことを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A